



みよし いちろう
三好 一郎 教授

～ 医用動物学分野 ～

講義題目

動物実験を適正に実施するために

【略 歴】

- | | | | |
|----------|-----------------------------------|----------|--|
| 1981年 3月 | 北海道大学獣医学部獣医学科卒業 | 1999年 4月 | 東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設助手 |
| 1983年 3月 | 北海道大学大学院獣医学研究科
形態機能学専攻修士課程修了 | 2003年 4月 | 名古屋市立大学大学院医学研究科助教授 |
| 1986年 3月 | 北海道大学大学院獣医学研究科
形態機能学専攻博士後期課程修了 | 2005年 4月 | 名古屋市立大学大学院医学研究科特任教授 |
| 1986年 4月 | 北海道大学医学部附属動物実験施設助手 | 2008年12月 | 名古屋市立大学大学院医学研究科教授 |
| 1992年 1月 | 米国チュレーン大学医学部生化学科
ポストドクトラルフェロー | 2015年 3月 | 東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設教授
2015年 3月 東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設長
(併任～2025年3月) |
| 1995年 2月 | 東北大学医学部附属動物実験施設助手 | 2025年 3月 | 退職 |

【研究業績等の紹介】

三好一郎教授は、1981年3月北海道大学獣医学部を卒業、同大学大学院獣医学研究科修士課程および博士後期課程に進学し、1986年3月に獣医学博士号を取得されました。同年4月北海道大学医学部附属動物実験施設助手に就任した後、1988年4月豪州クイーンズランド医学研究所に、1992年1月から2年間、米国チュレーン大学医学部に留学されております。1995年2月に東北大学医学部附属動物実験施設助手に転任した後、2003年4月に名古屋市立大学大学院医学研究科実験動物研究教育センター助教授として着任され、2005年4月に同特任教授、2008年12月に同センター長ならびに新設された病態モデル医学分野教授に昇任され、2015年3月に東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設教授として着任されました。

三好教授は、国内外の研究者と広く共同研究を展開し、遺伝子組換え動物を作製・解析することで遺伝子（産物）の機能を明らかにするとともに、研究や診断、治療に有用なモデル動物を開発されました。雌性生殖器に特異的に発癌するトランスジェニックマウスは、漿液性卵巣がんの発生源が卵管上皮由来であることを示すモデルとして、発表から20年以上経過した現在でも国内外から提供を求められております。また、自然発症ミュータントの疾患原因遺伝子の同定およびその変異の解析、発症機構の解明、正常遺伝子導入による回復あるいは変異遺伝子導入による再発症など

の研究も行われました。

助手時代に遺伝子組換えマウスの作製とともに共同研究として開始した発生工学的技術支援では、動物実験施設の高度技術支援業務として維持されており、マウス受精卵や配偶子の凍結保存やその個体復元ならびに体外受精による微生物清浄化など、この10年間で700系統以上の実績を積み重ね、遺伝子組換えマウスを用いた研究の発展に大きく貢献されております。

さらに、三好教授は、学部・大学院における講義・実習をはじめ、卒後トレーニング受講生への動物実験倫理・福祉に関する講義を行うなど、広く実験動物・医用動物学教育に尽力されました。2020年度より全学を対象に「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に定められている実験動物管理者への教育訓練を開始し、動物実験の適正な実施の推進に貢献されております。

また、老朽化した動物実験施設中央棟の再生計画「未来型医療総合実験研究棟の整備」においては、概算要求が採択され2021年3月から翌年8月にかけて大規模改修工事が行われました。学内関係諸氏のご支援・ご協力のもと、飼育環境の再整備、清浄な微生物環境、施設の改修・統合による飼育体制の効率化、研究環境の改善・強化、省エネ・快適空間等を目指し、動物実験施設の健全な管理運営に尽力し、適正な動物実験による研究の推進に貢献されております。

三好教授は、日本実験動物学会（理事・理事長、第69回学会総会大会長（2022年））、日本実験動物医学会理事、東北動物実験研究会会長などを歴任し、行政機関や関連学協会等との連携を強化し、我が国における実験動物学の発展ならびに動物実験の適正な実施の推進に尽力されました。特に、日本実験動物学会が実施する動物実験に関する外部検証事業ならびに日本実験動物協会が実施する実験動物生産施設等福祉認証事業において、第三者評価に携わる委員として動物実験の適正化に大きく貢献されております。